

2.履修上の注意点

- 授業時間割について
時間割に訂正や変更が生じた場合は、[C plus Chuo Univ Portal Site](#)（以下、「C plus」）上に発表します。学期始めは訂正や変更が生じやすいため、授業出席前に確認することを心がけてください。時間割は、毎年内容が変更します。また、急遽内容に変更が生じる可能性もありますので、こまめにWeb上で確認してください。
- 授業科目について
授業科目は、授業科目一覧、授業時間割、manaba上の「シラバス検索」を参照し、履修申請してください。なお、同一名称の科目を複数講座履修することや単位修得済の科目を履修することはできません。
- セメスター制について
商学部では講義科目を中心に、原則として週2回授業を行う半期完結型のセメスター制を導入しています(4単位)。時限の組合せは、月1・木3、月2・木4、月3・木1、月4・木2、火1・金3、火2・金4、火3・金1、火4・金2の8通りと、平日5・6時限、水1・2、水3・4の7通りの計15通りです。詳細は「12.講義科目一覧」とmanaba「シラバス検索」で確認してください。
- 履修届チェックリスト
履修登録後は必ず履修届チェックリストを出力し、履修登録状況を確認のうえ、成績発表時まで保管してください（履修登録されていない科目は、授業に出席し試験等を受けても成績評価されません）。
- 配当年次について
各科目は、履修できる年次が定められています。原則として、自分の年次より下の年次に配当されている科目を履修することはできませんが、自分の年次より上の年次に配当されている科目を履修することはできません。ただし、「ビジネス・プロジェクト講座Ⅰ」、「ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ」、「演習Ⅰ・Ⅱ」については配当年次以外では履修できません(認定・交換留学生を除く)。
- 学科指定科目・クラス指定科目
複数の学科に設置され、かつ学科やクラス単位で履修できる講座が指定されている科目のことをいいます。原則として、所属学科、クラス、入学年度が対象の講座を履修しなければなりません。**「5.学科指定科目・クラス指定科目一覧」**を確認してください。
- 自動登録科目について
「必修外国語科目」、「演習Ⅲ・Ⅳ」、「演習論文」については、自動的に履修登録されます。
- 事前登録科目について
履修登録期間の前にC plusにて登録してください。日程はOne Commerceの「ガイダンス等行事日程表」に掲載しています。抽選や選抜を実施する科目も履修許可された場合は、自動的に履修登録されます。事前登録した科目の変更および取消は一切できません。「抽選科目」、「ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ」、「課題演習Ⅰ・Ⅱ」、「演習Ⅰ・Ⅱ」、「国際教養演習Ⅰ・Ⅱ」、「情報科目」、「PBL科目(プログラム)」等が、事前登録科目です。
- 再履修(履修要項参照)
前セメスターまでの履修登録科目のうち不合格科目、または未受験等による単位未修得科目を再度履修することをいいます(前セメスターまでに履修登録をしていない科目を履修する場合は、全て新規履修となります)。また、授業科目名称が同一の科目は年度内に再履修することも可能です(最高履修単位数内に限る)。

ただし、「ビジネス・プロジェクト講座Ⅰ」、「ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ」、「課題演習Ⅰ・Ⅱ」、「演習Ⅰ・Ⅱ」、「国際教養演習Ⅰ・Ⅱ」、「アカウント・プログラム、ファイナンシャル・スペシャリスト・プログラムおよびプログラム科目PBL科目」、「総合講座(商学部メジャー探検講座)」、「インターンシップ入門」、「学部共通インターンシップ」、「英語(e2)(オーラル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)」、「FLP演習A・B・C」、「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」および「キャリア・デザイン・ワークショップ」は再履修できません。

また、必修外国語科目の再履修登録は、履修登録期間より前にC plusにて実施します。**「7. 必修外国語再履修」**を確認してください。
- 外国語の履修について(ブレキジット制)
ブレキジットにより、自分の年次より下の年次に配当された第二外国語を履修する場合は、C plusから再履修語学の履修登録を行ってください。なお、この場合の履修上の扱いは新規履修となります。

■他学部履修

他学部に設置されている科目を履修することです(「15.他学部履修」参照)。

■留学生の6時限科目履修について

授業の履修時間帯について、「出入国管理及び難民認定法第七条第一項第二号の基準を定める省令」により、在留資格「留学」の学生が専ら夜間通学をすることは認められていません。よって、本学商学部では在留資格「留学」の学生は、6時限の時間帯に偏った授業の履修はできません。履修を希望する科目が少なく、6時限に時間割が偏る場合等、時間割編成上不都合がある場合は、商学部事務室まで申し出てください。事前の申し出がなく6時限に偏った履修登録をした場合は、履修登録を取り消すことがあります。

■最高履修単位(登録可能な上限単位数)について

学期ごとおよび1年間に登録できる単位数(最高履修単位)は、学年や前年度までの修得単位数によって上限が定められています。この上限を超えて履修登録をすることはできませんので、履修要項に掲載されている「各学科 授業科目一覧(青色用紙)」から、それぞれの科目の位置づけ(必修・選択等)、他に履修を希望する科目の単位数等をよく確認の上、時間割を作成してください。

例年、Web抽選科目を数多く登録した学生より「履修が確定した科目を取り消したい」という申し出がありますが、一度履修が決定したWeb抽選科目は、取り消すことができません(履修中止は可能ですが、履修中止した科目の単位も上限単位数に含まれます)。履修登録の際には、あらかじめ今年度履修する科目をよく検討した上で登録してください。

■成績評価区分と成績評価コントロール制度の導入について

商学部では2020年度より、商学部設置科目に対して、成績評価の割合に関して相対評価の要素を一部取り入れることにより、これまで以上に厳格な成績評価を実施しています。

なお、「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「演習科目」、および履修者数が30名未満の科目は、成績評価コントロール適用除外科目とします。(但し、必修英語クラスについては【必修英語クラスにおける成績認定について】を参照してください。)

評価区分

点数	90点以上	89～80点	79～70点	69～60点	60点未満(不合格)	評価不能 未受験	履修中止
2022年度入学	S	A	B	C	E	F	W
2021年度以前	A	B	C	D	E	F	W

【2022年度入学生】

- (1) S評価とA評価の合計の割合は、当該科目履修者数の概ね30%となります。
- (2) S評価の割合は、A評価の割合以下となります。
- (3) S評価とA評価の割合は、F評価(評価不能・未受験)とW(履修中止)を除いて算出します。

【2021年度以前入学生】

- (1) A評価とB評価の合計の割合は、当該科目履修者数の概ね30%となります。
- (2) A評価の割合は、B評価の割合以下となります。
- (3) A評価とB評価の割合は、F評価(評価不能・未受験)とW(履修中止)を除いて算出します。

■必修英語クラスにおける成績認定について

レベル別に編成された1年次・2年次必修英語クラスでは、各クラス内における達成度にくわえて、学年全体における相対的な実力を勘案した成績評価を実施します。

- (1) 商学部「成績評価コントロール」に準じ、原則として、2022年度入学生のS評価とA評価、2021年度以前入学生のA評価とB評価の合計の割合は、クラス履修者数の概ね30%以内となります。
- (2) 但し、難易度の高い上位クラスにおいては、より緩やかな基準を適用し、30%以上になることもあります。

- (3) 再履修クラスにおいては、最高評価(2022年度入学生のS評価、2021年度以前入学生のA評価)は付与しません。

■GPAについて

2022年度入学生

$$GPA = \frac{4 \times S \text{ 修得単位数} + 3 \times A \text{ 修得単位数} + 2 \times B \text{ 修得単位数} + 1 \times C \text{ 修得単位数}}{\text{総履修単位数}(E, F \text{ を含む})}$$

2021年度以前入学生

$$GPA = \frac{4 \times A \text{ 修得単位数} + 3 \times B \text{ 修得単位数} + 2 \times C \text{ 修得単位数} + 1 \times D \text{ 修得単位数}}{\text{総履修単位数}(E, F \text{ を含む})}$$

F(未受験科目)が分母に含まれます。むやみな履修はGPAを下げることになりますので注意してください。その他、GPAに関する詳細は履修要項の「試験および成績」を参照してください。